

■ステップ4の続き～発表後の意見交換

今回で平面図をまとめるため、各班の発表後に意見交換が行われました。

和室は狭いでしょうか？

Aさん「お茶には十分だが、ヨガ等にはもう少し広い方がいい。和室を使う団体は多く、競合している」

Bさん「みんなの広場の小中高生スペースを、ヨガ等の団体で使うことができるのではないかな」

Cさん「みんなの広場が大人も使えると子どもが遠慮してしまう。子どもだけのスペースにしてほしい」

Dさん「今のゾーニングだとシニアが使える部屋がない。シニアの健康づくりの活動は土足でない部屋がいい。みんなの広場も、午前中ならシニアが使えるのでは。子どもたちのことも大事だが、シニアのことも考えていただきたい」

Eさん「2階の3分割の部屋の1部屋を土足禁止にする方法もあるが、大会議室としては狭くなる。二者択一」

Fさん「限られた面積の中で、色々な方が使いやすいというのは難しい。この地域は各町会が会館を持っているし、これからは学校の教室も空いてくるので、それらを有効に使うべき」

ファシリテーター「大人の活動のスペースが少ないという意見については、広い範囲で見渡して、サークル等で使える場所がないか、事務局とも協力して検討させてほしい。次回報告する」

読み聞かせをどうする？

Gさん「図書館の機能を考えれば、「読み聞かせコーナー」はないほうがいいが、「次世代の図書館」「立ち読み自由な本屋さん」というイメージで理解した。ただ、市民が認めてくれるかどうか。リニューアル1年後に、要望した人すら使わない状態であったら撤去する、といった条件を付けたい」

ファシリテーター「今の意見は大事。今回の図面のとおりでやるとしたら、保留事項付ということで進めたい。」

Hさん「読み聞かせはみんなの広場でもできるということであった。読み聞かせコーナーを1年試行としても、その後撤去するのかわかるのか」

ファシリテーター「みなが迷っている状態。次回報告したい」

北側駐車場と桜の木

Iさん「北側に駐車場を新設する予定だが、桜の木があると台数は望めない。忍びないが桜の木を撤去したい。枝も落ちて危険である。これはふるさと協議会としての意見である」

Jさん「北側駐車場の想定台数は？」

ファシリテーター「北側入口の西側に7～8台、東側にも7～8台を予定」

Kさん「センターの駐車場はいつも一杯で困っている」

ファシリテーター「多くの方が切っ掛けほしいという一方、切るの忍びないという声もある。次回集中して議論したい」

リノベニュース

をご愛読下さい。



お知らせします！

ワークショップの様子や施設改修の進捗状況をいち早くお知らせします。参加者の声やアンケートの結果、さらに平面図や建築模型なども、紙面でご紹介する予定です！



お寄せください！

是非地域のみなさまのご意見をお寄せください。

ご意見等は随時ご意見箱（近隣センター内に設置）やメール（タイトル下を参照）でも受け付け、ワークショップ時の検討材料として活用させていただきます。

南部近隣センター
リノベーション事業
特設サイト 開設！



<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/053000/p043375.html>

住民と行政が共に考えるリノベーション・ワークショップ

2018年5月10日 第6号

南部近隣センター リノベニュース

発行：柏市役所地域支援課 問合せ：04-7167-1126 Fax 04-7167-8103 mail: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp

ついにゾーニングが確定?! WSは山場へ!



3月25日（日）13時から南部近隣センター2階会議室において、第5回のワークショップが「平面だけでなくデザインや材料も決めよう！」のテーマで開催されました。今回は3グループ編成になり、ゾーニングの検討で浮かび上がった問題点を集中検討すると共に、全体共有して活発に意見交換しました！



■次回（第6回ワークショップ）のご案内

6月2日（土）は「できました！新しい南部近隣センター」をテーマに、第6回のリノベーションワークショップを開催します。

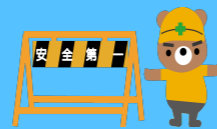


<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/053000/p043375.html>

事業のスケジュール

ワークショップは全6回。アイデア出しから始めて、必要な機能を考え、ゾーニング（レイアウト）、平面図まで、皆さんと決めていきます。

今ココ！
第5回終了



リニューアル
オープン



'17/8月～9月
アンケート
(終了しました)

'17/10月～'18/前半
市民ワークショップ(全6回)・設計

改修工事



第5回WS 平面だけでなくデザインや材料も決めよう！

第5回 WSの流れ



ステップ1 あいさつ

ステップ2 前回の振り返り

ステップ3 ゾーニングを確定させよう！



ステップ4 全体発表と意見交換

ステップ5 建物全体イメージを象徴する材料・色彩について ※意見交換はせず、資料の説明のみ。柏市ホームページに掲載しています。

第6回WS 6/2



ファシリテーター 岡山理科大学 平山文則 教授



■ステップ1～あいさつ
今回は、柏市地域づくり推進部星雅之次長の挨拶でスタート。年度末のため参加者は37名。今回でいったんまとめるので、少し緊張感があります。

■ステップ2～前回の振り返り
前回の感想カードでは、各施設やゾーニングへのさまざまな意見が寄せられました。それらの意見を一つ一つ確認し、今回のワークショップで議論を深めることを皆で確認しました。

■ステップ3、4～意見交換と発表
今回は3班に分かれ、議論を詰めていきます。各班が南部近隣センター全体のゾーニングを議論し、発表しました。

①イッパン班
目的を叶えたい空間チーム

②イチゴ班
立ち寄りしたい空間チーム

③サクラ班
本が読みたくなる空間チーム



イッパン班 発表風景

・出張所をもっと明るい入口寄りにしたいとの意見もあったが、原案で落ち着いた。休日受付窓口は手前にしてほしい。
・図書館内の読み聞かせのスペースは周りの人にうるさいので、みんなの広場の中がよい。
・みんなの広場の小中高エリアも土足禁止にして、ヨガなど大人の団体も使えるようにしたい。
・現在広い和室を使っているサークルがあるため、2階の和室を広くしてほしいとの意見があった。小会議室との仕切りを可動式にできないか。
・大会議室を土足禁止にするかどうか議論したが、原案のまま土足で使用する部屋としたい。



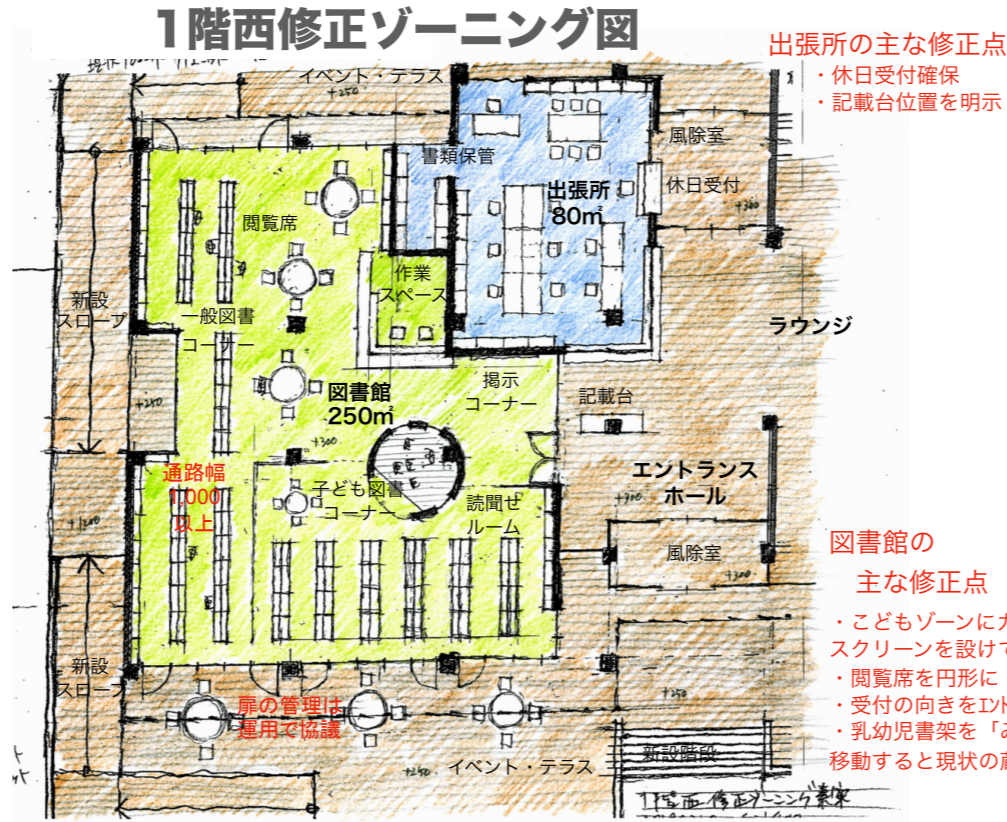
サクラ班 発表風景

・図書館内の読み聞かせのスペースは色々な意見が出た。本を読んでいる人に声が聞こえるのは厳しいが、逆に「次世代の図書館」と捉え、トライアルしてみる方法もある。1年ほどチャレンジし、利用されなかったら用途変更するのはどうか。
・柏市の歴史に関する資料や書物を置きたい。
・和室は、茶道で使いやすい部屋にほしい。
・2階からの眺望を活用したい。
・空調等について、クリーンエネルギーを活用してほしい。



イチゴ班 発表風景

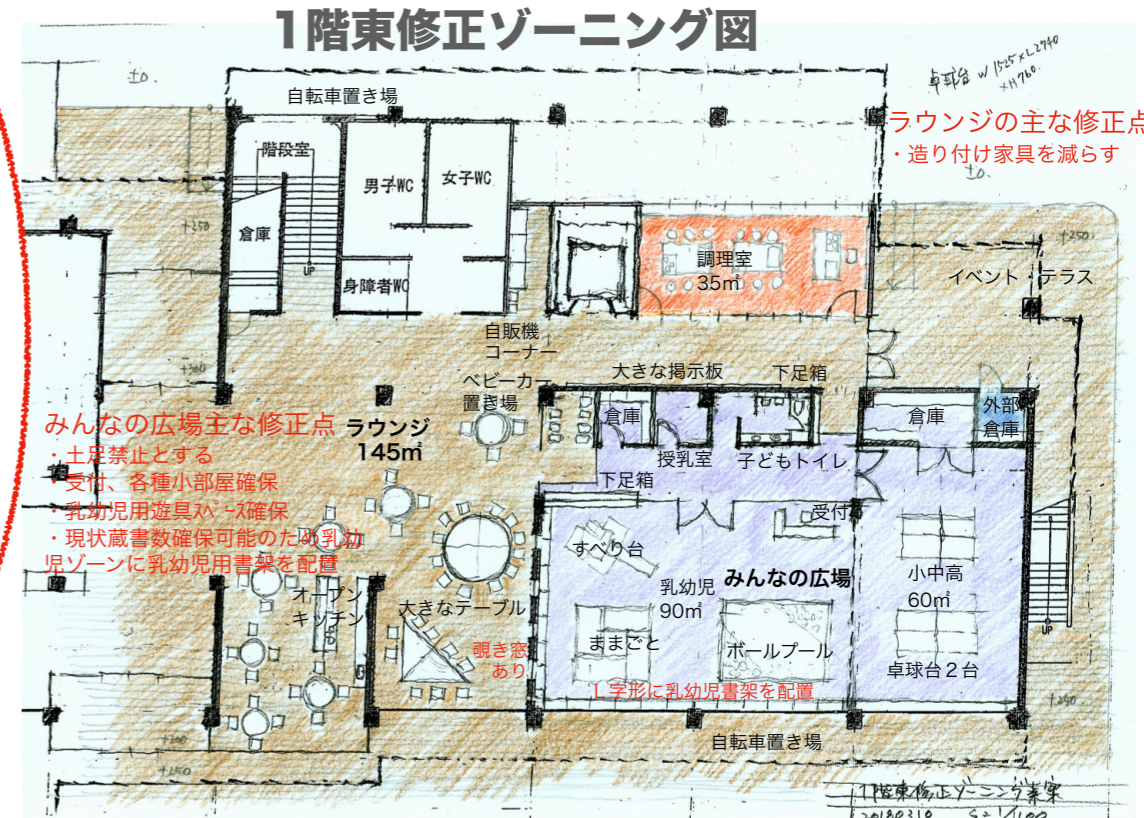
・「読み聞かせ専用スペース」は、みんなの広場には不要。現在でも職員がやっており、スペースやブースがなくても行える。
・みんなの広場に置く本は子どもにとっては「おもちゃ」であり、積んだりしゃぶったりしてしまうので、図書館の本を置くのはやめたい。
・小中高エリアは、乳幼児親子のイベントや小学生の工作などで活用できる。これまでは和室を使っていたが、専用スペースで活動できる。
・2階の地域いきいきセンターは週3日の営業なので、他の日の有効活用ができないか。



出張所の主な修正点
・休日受付確保
・記載台位置を明示

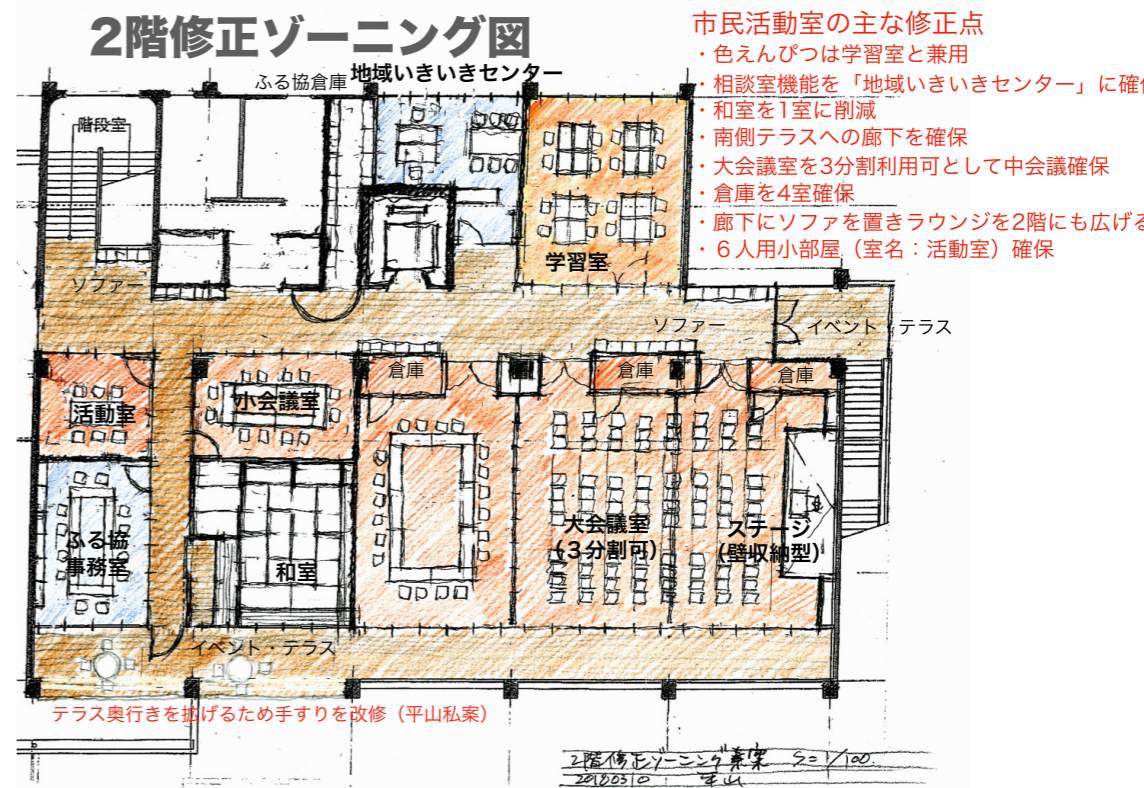
この図をベースに意見交換をしました

図書館の主な修正点
・子どもゾーンにガラススクリーンを設けて遮音
・閲覧席を円形に
・受付の向きをエントランス側に
・乳幼児書架を「みんなの広場」に移動すると現状の蔵書数確保可能



ラウンジの主な修正点
・造り付け家具を減らす

みんなの広場主な修正点
・土足禁止とする
・受付、各種小部屋確保
・乳幼児用遊具X確保
・現状蔵書数確保可能なため乳幼児ゾーンに乳幼児用書架を配置



市民活動室の主な修正点
・色えんぴつは学習室と兼用
・相談室機能を「地域いきいきセンター」に確保
・和室を1室に削減
・南側テラスへの廊下を確保
・大会議室を3分割利用可として中会議確保
・倉庫を4室確保
・廊下にソファを置きラウンジを2階にも広げる
・6人用小部屋(室名:活動室)確保

テラス奥行きを上げるため手すりを改修(平山私案)